

# いせ



第63号

令和3年5月1日号

発行／伊勢市議会  
編集／議会のあり方調査特別委員会  
広報検討分科会

## 市議会だより

題字 宮山小学校6年（現在厚生中学校1年）大西 花佳 さん



### 主な記事

- 3月定例会の概要 ..... 2～3ページ
- 予算特別委員会の概要 ..... 4～5ページ
- 審議した主な議案の内容 ..... 6ページ
- 市政を問う（議案質疑・一般質問）... 8～13ページ
- 新型コロナにかかる市への要望 ..... 14ページ
- 伊勢市駅前再開発ビルへの入居を断念 ..... 16ページ

### 「宮川堤の桜と彩雲<sup>さいうん</sup>」

船江2丁目の比嘉香奈恵さんにご投稿いただきました。

撮影日 2020年4月7日

～比嘉香奈恵さんのコメント～

「小学校の入学式を2日後に控え、新1年生になる娘のランドセル姿の写真を撮りに宮川堤に行きました。この日は天気も良く、宮川堤に着く前から彩雲が出ており、着いてからも長い時間、彩雲が出ていました。満開の桜と共に撮れ、感動しました。」

### 3月定例会

# 令和3年度一般会計予算を可決 4.2% (約23億円) の減

## 3つの視点による施策に重点的に取り組む

#### 3月定例会の概要

令和3年3月市議会定例会は、2月22日から3月19日までの26日間の会期で開会しました。

今定例会では、令和3年度予算や令和2年度補正予算をはじめとする45議案が提出され、本会議、予算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決、人事案件については同意しました。

そのほか、報告2件を承認、請願1件を採択、発議2件を可決しました。

また、3月1日および2日の本会議では、延べ10人の議員が議案質疑、一般質問を行いました。

なお、本会議において、

「令和3年度伊勢市一般会計予算」および「伊勢市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定」について、反対討論があり、「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願」について、反対討論と賛成討論がありました。

3月定例会で審議した主な議案の内容は6ページ、議決結果は6〜7ページをご覧ください。



本会議での市長提案説明(2月22日)

#### 当初予算の概要

令和3年度伊勢市一般会計  
予算総額  
525億6439万2千円

令和3年度予算は、前年度予算と比較して4.2% (23億2647万8千円) の減額となりました。

新型コロナウイルス感染症により生まれた次の3つの視点による施策に重点的に取り組んでいくこととされました。

① 「新型コロナウイルス感染症により生まれた新たな価値・スタイルに対応した地域経済と市民生活の再興と創造」

国・県とも連携を図りながら、引き続き感染防止の取り組みを進めるとともに、Withコロナ、afterコロナの中でも輝ける新たなスタイルの確立および価値を創出していくため、市民活動やスポーツ・文化行事、観光事業等について、オンライン開催、観光地の混雑情報の配信等、「実施するためには」の視点で柔軟な対応を図ります。

また、日々の生活や事業活動に関する市民や事業者の皆さんの声を聞き漏らさず、状況に応じた適切なセーフティネット等を講じます。

② 「デジタル化によるスマートシティの推進」

住民の利便性の向上、行政事務の効率化のツールだけでなく、感染症対策としても非接触型の窓口サービスの実現等にデジタル化は欠かせないものとなっています。各種行政手続やSNS等を活用した相談等のオンラインサービスの導入により市民サービスの向上を図るとともに、AIやRPAの活用などを用いて市役所業務を進め、正確性や安全性の向上および業務の効率化を図ります。また、WiFi環境の整備に加え、AIカメラを活用した商店街の通行量調査や排水機場の遠隔操作システムの導入に向けた調査など、地域社会におけるデジタル活用も進めます。

※ RPA (Robotic Process Automation) … パソコン上で行う一連の操作を自動化するソフトウェアロボット。

### 3月定例会会日程

- 2月
  - 22日。本会議  
(議案の提案説明等)
  - 。全員協議会
- 3月
  - 1日。議会運営委員会  
。本会議(議案質疑・委員(会)審査付託・一般質問)
  - 。予算特別委員会(全体会)
  - 2日。本会議(一般質問)
  - 4日。予算特別委員会(分科会審査(4日~10日))
  - 4日。産業建設分科会
  - 5日。産業建設分科会
  - 8日。教育民生分科会
  - 9日。教育民生分科会
  - 10日。総務政策分科会
  - 12日。産業建設委員会
  - 15日。教育民生委員会
  - 16日。総務政策委員会
  - 17日。予算特別委員会(全体会)
- 19日。議会運営委員会  
。本会議(議案採決等)
- 。産業建設委員会
- 。教育民生委員会
- 。総務政策委員会



伊勢市議会委員会室



伊勢市議会本会議場

③「地域を支える人材や、定住・関係人口等を意識した取組の推進」

少子高齢化・人口減少の進行、また生活様式の変化や価値観の多様化、プライバシー意識の高まりなどにより地域のつながりが薄れる傾向にあります。さらに新型コロナウイルス感染症による地域行事の減少など、さらなる影響が心配されます。一方でふるさと応援寄附金やクリエイターズ・ワーケーション事業により、「伊勢を応援したい」といった新たなつながりも生まれています。ふるさと未来づくりや市民活動にご尽力いただいている方々と協働で地域を支える基盤づくりを進めていくとともに、定住・交流人口の増加を目指し、移住促進のための取り組みや市の魅力発信の強化等に努めます。

そのほか、「第3次伊勢市総合計画」に掲げた7つのまちづくりの課題に対応した施策を引き続き進めていきます。

#### 7つのまちづくりの課題

- ①子どもを産み育てやすい環境づくり
- ②超高齢社会への対応
- ③地域のつながりの再生
- ④集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備
- ⑤選ばれるまちづくり
- ⑥自然災害への備え
- ⑦有形・無形の歴史的・文化的資産の継承と活用



#### 予算特別委員会の設置

3月1日開会の本会議において、「一般会計予算」外9件を詳細に審査するために予算特別委員会が設置され、分科会として「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」を設置しました。

分科会審査の詳細は4ページをご覧ください。

#### 予算特別委員会採決結果

賛成多数で可決すべしと決定  
・一般会計

- 全会致で可決すべしと決定
- ・国民健康保険特別会計
  - ・後期高齢者医療特別会計
  - ・介護保険特別会計
  - ・住宅新築資金等貸付事業特別会計
  - ・観光交通対策特別会計
  - ・土地取得特別会計
  - ・病院事業会計
  - ・水道事業会計
  - ・下水道事業会計

### 予算特別委員会の概要

予算特別委員会は、3月4日から10日までの5日間で、令和3年度の一般会計、各特別会計および各企業会計の予算について分科会方式で審査しました。

3月

- 4日・産業建設分科会
- 5日・産業建設分科会
- 8日・教育民生分科会
- 9日・教育民生分科会
- 10日・総務政策分科会

審査の結果は、「令和3年度伊勢市一般会計予算」を賛成多数で、その他の議案を全会一致で可決すべしと決定しました。

各分科会では主に次の項目について、審査を行いました。

#### 産業建設分科会

##### ○歳出

**労働費** 若年者および女性・障がい者の就労支援、中小企業PRの支援など

**農林水産業費** 担い手対策、農産物のブランド化、6次産業化推進、排水機場の維持管理、獣害対策、産直施設での水産物販売など

**農工費** 商店街の空き店舗対策、産業支援センターの管理・運営など

**観光費** 観光地の混雑状況配信、ターゲット戦略推進による観光客の回復および経済の活性化など

**土木費** 地籍調査、道路整備工事の早期完成、宇治山田駅周辺道路の混雑対策、伊勢市駅前C地区市街地再開発事業、公園の長寿命化、空き家バンクなど

##### ○特別会計

・住宅新築資金等貸付事業

#### 特別会計

・観光交通対策特別会計

三重とこわか国体・とこわか大会に向けた安全対策

・土地取得特別会計

##### ○企業会計

・水道事業会計 経費削減および効率化への取組など

・下水道事業会計 下水道接続率向上、雨水処理対策の充実など

#### 教育民生分科会

##### ○歳出

**民生費** 新型コロナウイルス自宅待機者への対応、福祉健康センターの今後の運営、重層的な相談支援体制の整備、地域共助の基盤づくり、寿バス券の交付率向上、保育のICT化、親子3人乗り自転車購入補助、子育て支援の相談、保育士の会計年度任用職員制度など

**衛生費** きれいなまちづくりの推進、ごみの減量

**消防費** 避難行動要支援者制度

**教育費** いじめ防止対策、学校プールのあり方の検討、学校ICT機器の導入、いじめと不登校対策、郷土資料館の設置、図書館の運営、文化芸術鑑賞、学校歯科保健指導など

##### ○特別会計

・国民健康保険特別会計

・後期高齢者医療特別会計  
・介護保険特別会計 介護認定調査員の対応

##### ○企業会計

・病院事業会計 コロナ禍での地域医療の発展、公立病院としての体制整備や経営改善など



北村勝産業建設分科会  
会長審査結果報告



産業建設分科会  
(3月5日)



産業建設分科会  
(3月4日)



吉井詩子教育民生分科会  
会長審査結果報告



教育民生分科会  
(3月9日)



教育民生分科会  
(3月8日)

総務政策分科会

○歳入

新型コロナウイルスの影響による市税の支払い猶予と支払い困難者対策など

○歳出

総務費 職員採用試験の受験者減少対策、新型コロナウイルス感染症対策による時間外増加、職員の不祥事・交通事故対策、自治体DXや新たなICTへの対応、行政のICT化、情報格差対策、デジタル技術を活用した地域課題解決、出会い・結婚支援事業の実施、財政面で効果のある行財政改革、事業の選択と集中、広域連携の取り組み、財政調整基金の取り崩し、公共施設類型別計画の見直し、<sup>\*</sup>サウンディング型市場調査の地元協議、いせまつり開催、ふるさと未来づくり資金、まちづくり協議会への市職員参加、防犯カメラの管理体制とデータの保存期間、犯罪被害者等支援事業

の予算計上のあり方検討、戸籍窓口の改善、マイナンバーカードの利便性の向上など

消防費 救命講習の実施、新型コロナウイルス感染者の救急搬送等における消防職員の感染防止対策、消防団員のなり手不足対策、消防水利の修繕、アレルギーのある人への備蓄食の対応など



小山敏総務政策分科会  
会長審査結果報告



総務政策分科会  
(3月10日)

予算特別委員会全体会

3月17日の予算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会ことの審査結果の報告と採決がありました。

また、3月19日の本会議で、吉岡勝裕予算特別委員会委員長から予算全体の審査の結果報告がありました。会議の動画は、伊勢市議会のホームページからご覧いただくか、左の二次元コードを読み取って視聴してください。



本会議  
(3月19日)



予算特別委員会  
(3月17日)

二次元コードについて

いせ市議会だよりでは、YouTubeを利用した録画放送へリンクする二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレットで読み取ると、会議の動画が視聴できます。

※視聴方法は13ページをご覧ください。



吉岡勝裕予算特別委員会  
委員長審査結果報告

議会日誌

- 2月
  - 2日。議会のあり方調査特別委員会
  - 各派代表者会議
  - 産業建設委員会
  - 同協議会
  - 9日。教育民生委員会
  - 同協議会
  - 10日。総務政策委員会
  - 同協議会
  - 15日。議会運営委員会
  - 同協議会
  - 各派代表者会議
  - 全員協議会
  - 22日。3月19日
  - 3月定例会
  - 22日。全員協議会
  - 広報検討分科会
- 3月
  - 9日。全員協議会
  - 12日。広聴検討分科会
  - 16日。総務政策委員協議会
  - 19日。広報検討分科会

※サウンディング型市場調査…市が保有する公共施設などの有効的な活用方法について、活用主体となる意向を有する民間事業者から広く意見、提案を求め、直接の対話を通じて市場性の有無や活用のアイデアを調査する。

審議した主な議案の内容

令和2年度補正予算

▽令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第12号) 9億4616万5千円

新型コロナウイルスワクチン接種を行う医療従事者への報償費のほか、接種会場の設営・借上げ等に要する経費を計上するもの。

▽令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第13号) ▲2億3280万1千円

通常の最終的な計数整理に加え、職員給与費の減額について補正予算を計上したもので、主な歳出は次のとおり。

総務費

早期退職者等の退職手当の支給に要する経費、戸籍住民基本台帳事務一般経費では増額補正を、自治区振興事業では減額補正をするもの。

民生費

特定教育・保育施設型給付事業では増額補正を、医療費支給事業、特別定額給付金事業、介護保険特別会計繰出金、市立保育所各種保育事業では減額補正をするもの。

商工費

ゴールデンウィーク来訪自粛協力金、新しい生活様式に取り組む事業者支援補助金で減額補正をするもの。

観光費

飲食店・宿泊施設応援事業、外国人観光客誘致推進事業、花火大会開催負担金で減額補正をするもの。

▽令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第14号) 3億877万1千円

国の補正予算に伴う国庫支出金等の配分内示等に基づき追加補正をするもの。

令和3年度補正予算

▽令和3年度伊勢市一般会計補正予算(第1号) 7億1183万9千円

新型コロナウイルス感染症に関連した感染防止対策、生活支援対策、経済対策に要する経費等を計上するもの。

条例

▽伊勢市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪等により被害を受けた方やその家族、遺族が受けた被害の早期回復、軽減を図るとともに、犯罪被害者等を支える地域社会の形成を図り、市民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現のため、条例を制定しようとするもの。

施行期日

令和3年4月1日

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

[議案]

議案番号	案件名	審議結果等
議案第 1 号	専決事項の承認を求めること(令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第12号))	承認
議案第 3 号	令和3年度伊勢市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第 4 号	令和3年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第 5 号	令和3年度伊勢市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第 6 号	令和3年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第 7 号	令和3年度伊勢市観光交通対策特別会計予算	原案可決
議案第 8 号	令和3年度伊勢市土地取得特別会計予算	原案可決
議案第 9 号	令和3年度伊勢市病院事業会計予算	原案可決
議案第 10 号	令和3年度伊勢市水道事業会計予算	原案可決
議案第 11 号	令和3年度伊勢市下水道事業会計予算	原案可決
議案第 12 号	令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第13号)	原案可決
議案第 13 号	令和2年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第 14 号	令和2年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 15 号	令和2年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第 16 号	令和2年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決

議案第 17 号	令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 18 号	令和2年度伊勢市土地取得特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 19 号	令和2年度伊勢市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 20 号	令和2年度伊勢市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 21 号	令和2年度伊勢市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 23 号	伊勢市犯罪被害者等支援条例の制定	原案可決
議案第 24 号	伊勢市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正	原案可決
議案第 25 号	伊勢市附属機関条例の一部改正	原案可決
議案第 26 号	伊勢市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正	原案可決
議案第 27 号	伊勢市職員給与条例の一部改正	原案可決
議案第 28 号	伊勢市奨学金支給条例の一部改正	原案可決
議案第 29 号	伊勢市国民健康保険条例の一部改正	原案可決
議案第 30 号	伊勢市介護保険条例の一部改正	原案可決
議案第 31 号	伊勢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
議案第 32 号	伊勢市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
議案第 33 号	伊勢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
議案第 34 号	伊勢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
議案第 35 号	伊勢市離宮の湯条例の一部改正	原案可決
議案第 36 号	伊勢市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正	原案可決
議案第 37 号	市道の路線の廃止	原案可決
議案第 38 号	市道の路線の認定	原案可決
議案第 39~40 号	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと	同意
議案第 41 号	令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第14号)	原案可決
議案第 42 号	令和2年度伊勢市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 43 号	令和2年度伊勢市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 44 号	令和3年度伊勢市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 45 号	令和3年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決

【報告された案件】

報告第 1 号	専決処分事項の報告(請負契約の金額の変更)	承認
報告第 2 号	専決処分事項の報告(物損事故)	承認

【発議】

発議第 1 号	伊勢市議会会議規則の一部改正	原案可決
発議第 2 号	伊勢市議会委員会条例の一部改正	原案可決

賛否の分かれた案件

【議案】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	24	25
議員名	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世吉	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	小山	浜口	山本	宿典	世吉
議案番号	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	敏	和久	正一	典泰	新吾
議案番号	案件名												審議結果											
議案第 2 号	令和3年度伊勢市一般会計予算												賛成多数 原案可決											
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 22 号	伊勢市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定												賛成多数 原案可決											
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【請願】

請願第 1 号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願												賛成多数 採択											
	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○

・○は賛成、×は反対。浜口議長は通常採決に加わりません。

# 市政を問う

3月定例会では、3月1日および2日の2日間、1人の議員が議案質疑を、9人の議員が一般質問を行いました。

質疑・質問と答弁の内容を要約してお知らせします（発言順に記載）。

**議案質疑** …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

**一般質問** …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

## 動画配信について

議案質疑・一般質問ページにおいて、YouTube を利用した録画放送へリンクする二次元コードを掲載しています。各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。

## 議案質疑

議案第2号

令和3年度伊勢市一般会計予算

## デジタル活用推進事業の対応と市民の公平性についての方策を問う

**答** 市民の利便性の向上や事務の効率化が図れるものである



世古口 新吾 議員  
(勢風会)



**問** パソコンやスマートフォンを持っていない高齢者がたくさんいると思うが、どのように対応するのか。

**答** 市民サービスごとに対象となる世代を意識しながら、それぞれの世代に合ったデジタル化を検討する。また、高齢者へのデジタルを活用したサービスを始める際には、利用方法などについて丁寧な説明をしながら取り組んでいきたい。

**高年齢電動アシスト自転車購入補助事業について**

**問** 事業の諸条件について聞きたい。

**答** 市内に住所を有する65歳以上の方が市内店舗で購入した場合、上限3万円、本体購入価格3分の1の補助を行う。

**高年齢者外出支援モデル事業について**

**問** 事業の諸条件について聞きたい。

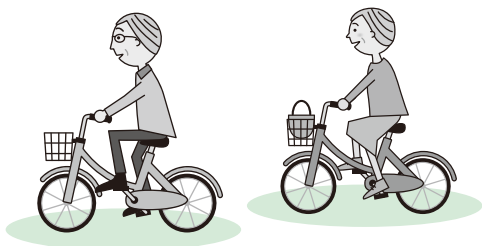
**答** 75歳以上の高齢者が対象で事前に利用者登録を行い、週1回程度とする。支援の範囲は自宅から指定のバス停や公共機関までタクシー運送料金の一定額の助成を行う。モデル事業を通じ様々な支援のあり方を

検討していきたいと考える。

**住宅対策事業について**

**問** 空き家対策についての計画と概要は。

**答** 国の特別措置法に基づき伊勢市空家等対策計画を5年計画で策定した。安全・安心の確保、活用・流通の促進、地域との連携を3本柱とし、総合的な対策を進めている。





# 高齢者外出支援モデル事業は本格運行を前提とした社会実験なのか

**答** 高齢者の外出支援として最適な方法を確認して本格運行に繋げたい



小山 敏 議員  
(祥山会)



**問** モデル地区の選定は何を基準に考えているのか。

**答** 高齢者が徒歩でバス停や公共交通機関等に行くのが困難な所を考えている。

**問** その地区の範囲は。

**答** 中学校区で考えている。

**問** 何箇所で行うのか。

**答** 2箇所を予定している。

**問** 市が指定する目的はどのような施設か。

**答** 地域内の最寄のバス停や高齢者が利用する病院やスーパーを考えている。

**問** 利用者の条件はどのように考えているのか。

**答** 対象地域に住んでいる75歳以上の方で、家族による支援が受けられず、自身での運転も行えず、外出が困難な方とする。

**問** 利用方法はどのように考えているのか。

**答** 事前に登録を行って頂き、利用券を配布し、利用券と自己負担金をタクシー運転手に渡して頂く。

**問** 料金体系はどのように考えているのか。

**答** タクシー料金の距離単価に基づき区分を設け、自己負担金を設定したい。

**問** この実験運行はいつから開始するのか。

**答** 一定の準備期間を設け7月には開始したい。

**問** このモデル地区での実験運行の検証の後、いつから全市的な本格運行に移行する予定か。

**答** 検証を行う中で、様々な視点で、当該モデル事業

も含めた高齢者の外出を支援する最適な方法を検討し、本格運行について考えたい。



他市の高齢者外出支援の先進事例

## 市民の交通安全対策への取り組みについて問う

**答** 啓発活動の強化を図り対策を充実していきたい



北村 勝 議員  
(勢風会)



**問** 市内の至る所で横断歩道、停止線、センターライン等の区画線が消えている。早急に修復することが必要であるが対応は。

**答** 令和3年度、市道の区画線は概ね再塗装・復旧できると考えている。横断歩道や停止線等の規制標示については警察と、センターライン・外側線については県と連携を取り、早急に整備していきたい。

**問** 道路のひび割れや上下水道管理設時に生じる段差の早期整備が必要であるが。

**答** 埋設工事時の関連工事などの工程を調整し、仮舗装から本舗装復旧までの期間の短縮に取り組む。また、ひび割れ・段差の生じているところがないよう道路の点検を行い安全管理に務めていきたい。

### 企業誘致について

**問** コロナ禍の新しい生活様式のなか、本社機能の地方への移転、海外企業の国

内帰が多い今こそ、これらの企業誘致に取り組む戦略を構築すべきと考えるが本市の取り組みは。

**答** 全国的に企業の設備投資のあり方も変化してきており、本社機能移転の動きや海外拠点を国内に戻す動きも見られる。注視しながら企業誘致の戦略について抜本的に見直していきたい。

### その他の質問事項

● ワフチン接種の進捗状況とスケジュールについて



区画線が消えた横断歩道

一般質問

避難所での新型コロナウイルス感染症防止対策は



野口佳子 議員 (志誠会)



共助の役割が重要であり、地域との協力体制の構築を検討したい

問 避難所の運営等における女性の視点についての考えは。

答 庁内の多様な職種の女性職員で構成する防災対策委員会を立ち上げ、避難所運営、避難所のレイアウト、備蓄物資について検討し取り組んできた。また、女性や災害弱者に配慮した備蓄状況としては生理用品や乳幼児用の紙おむつ、ミルクなどのほか、介護用の紙おむつなどでもできる限り備蓄に努めている。

問 現状の課題と今後の考え方は。

答 女性の防災講習会の参加、自主防災隊等への参加はまだ不十分な状況でもあり、今後も講習会への参加等がしやすい体制づくりに

努め、災害時に弱者となり得る方々へ配慮した避難所運営に努める。

問 濃厚接触者やPCR検査待ちの避難者の受け入れについてはどうされるのか。

答 避難所での感染の拡大のリスクを下げ、風評被害を避けるために保健所と連携して特定の避難所も用意し、安心して避難ができるよう努めた。

問 今年度、台風等により開設した避難所でコロナ感染対策として避難所運営に協力された地域はあったのか。

答 台風第14号のときに中島地区のまちづくり協議会が伊勢宮川中学校で協力していた。また、城田地区7自治会の自主防災隊

が連合して城田小学校で協力していただいた。



コロナ感染対策をした避難所

特別養護老人ホームの待機者数は



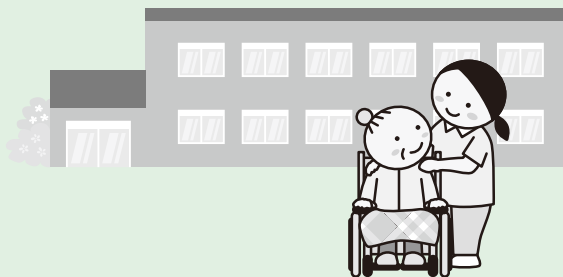
答 令和元年9月1日時点で約100名程度である

楠木宏彦 議員 (日本共産党)



問 要介護1と2の方は、特養の対象から外されている。認知症などは、初期段階でも入所は必要である。配慮されているのか。  
答 認知症の度合いも含めて要介護度を判定している。  
問 第8期介護保険事業計画には、特養増設の計画は書かれていないが。  
答 令和2年度に特養と介護医療院をともに40床増設した。8期計画では介護医療院を18床増設の予定である。  
問 待機者解消の見込みは。  
答 一定の期間お待ちいただければ入所は可能である。  
問 コロナワクチン接種は、公衆衛生上重要な課題である。高齢者の接種会場などへの付き添い支援など適切な措置が必要では。  
答 ケアプランに基づいて介護サービスを利用していただく。国の意向・動向なども確認していきたい。  
問 自治体調査で介護保険は現状のままでは維持が困難という回答が9割に上る。その理由の一つ目に人材不

足がある。認識と対策は。  
答 研修の実施や受講の補助、処遇改善加算の取得推進などを進めていく。  
問 理由の一つ目に保険料上昇がある。原因と対策は。  
答 高齢化に伴う給付費の増加がある。介護予防の強化、健康寿命の延伸、高齢者が元気に活躍し続けられるまちを目指す。  
問 介護職員の離職対策は。  
答 事業所向けに職場づくりの研修などを行い、専門職の確保などにも努めたい。



# ハクビシンによる農作物被害が増加しているが、対応を聞きたい

**答** 鳥獣被害防止計画において、対象鳥獣へハクビシンの追加を検討する



福井輝夫 議員  
(志誠会)



**問** 中型獣による農作物被害の中でハクビシンによる被害が増えている。捕獲の体制に問題はないのか、今後の対応を聞きたい。

**答** 有害獣捕獲の委託業務において、ハクビシンを捕獲対象とすることや捕獲のやり方を増やす等、さらに対策を強化し、農作物被害の軽減に向けた取り組みを進める。

## 横断歩道や停止線について

**問** 伊勢市内の道路の横断歩道や停止線に消えかかっている箇所が多いが、どう対応していくのか。

**答** 警察が維持管理しているが、市の定期的な道路パトロールの際に注意するよ

### 一般質問

う努め、また、市民の皆様の声も含め、消えかけている状況を把握したら速やかに警察に連絡したい。

## 鳥のフン被害について

**問** 宇治山田駅前の明倫商店街横の神社前歩道では、鳥のフン害が以前から指摘されているが抜本的な解決に至っていない。市の対策を聞きたい。

**答** フン害は周辺自治会からも要望をいただいている。県、中部電力、地元自治会等の協力を得ながら、カラス等の追い払いや歩道にかかる枝の剪定、電線への飛来防止対策等を講じている。また、自治会等で清掃活動をしていただく場合は高圧

洗浄機等の貸し出しを行っている。今後も先進事例の情報収集を行い、関係機関と課題共有し、効果的な対策について研究したい。



ハクビシン

## 男女共同参画とSDGsの関係についての認識は

**答** 男女共同参画社会の実現はSDGsの達成に不可欠である



吉井詩子 議員  
(公明党)



**問** 「男は仕事、女は家庭」という意識についてどのように分析し、意識啓発をしていくのか。

**答** 固定的性別役割分担意識は高齢の世代ほど高い傾向にある。長年の意識を変えるのは難しいが、様々な手段を用いて地道に啓発していく。

**問** コロナ禍による収入減などで女性が影響を受けている。ひとり親家庭などへの支援を強化すべきではないか。

**答** 養育費関係についてできるだけ早急に現実に動かしたい。

## 交通施策について

**問** 高齢者電動アシスト自転車や親子3人乗り自転車の購入補助が令和3年度予算に計上されているが、自転車走行の安全な利用環境の整備についてどのように取り組むのか。

**答** 通行量を加味しながら歩道のない道路では路肩を着色するなどを検討したい。



通行するには危険な歩道

歩道についても危険箇所の情報をいただいたら早急に修繕していきたい。

**問** ETC2.0を用いたビッグデータの活用による生活道路の安全対策に取り組む考えはあるか。

**答** 他市の状況や取り組みの場合のメリットと効果を見据えて研究したい。

**問** 買い物をする所でバスを待つ時間が長いとの声があるが、バス停の環境改善に取り組み考えはあるか。

**答** バス停の周辺の環境を確認し、隣接する施設管理者と相談もして検討したい。

一般質問

旧豊宮崎文庫跡の活用について問う

答 憩える場として復活させていきたい



中村 功 議員 (志誠会)



問 旧豊宮崎文庫跡を憩いの場として復活させるために、オヤネザクラを増やすことは考えているか。

答 オヤネザクラは、史跡として指定されている要素の一つでもあることから保存・育成は必要である。現在、試験的に増殖を行っている。

問 旧豊宮崎文庫の保存と活用について、今後どのように取り組んでいくのか。

答 発掘調査を行い、その結果を踏まえ、史跡の整備基本計画を策定して、具体的な整備内容を定めていく。

問 保存と活用を進めていく上での課題は何か。

答 発掘調査や調査書作成等において、埋蔵文化財の

専門職などの人材確保が必要となる。

問 情報発信について、どのように認識しているのか。

答 文化財を守り伝えるため、文化財の価値を情報発信することは重要であり、文化財は教育やまちづくりを活用できる可能性がある」と認識している。

問 旧豊宮崎文庫のお堀(溝)の前にあるガードレールや街灯、カーブミラーも錆びたりしているので、史跡にふさわしい景観とするなどの工夫があるのでないか。

答 周辺の環境整備については、関係部局と協議していきたい。



旧豊宮崎文庫

市もたばこ規制枠組み条約遵守が必要と考えるが

答 市としても国が締結をした条約を遵守することは必要と考えている

野崎 隆太 議員 (野崎りゅうた)



問 喫煙による職員離席について管理体制を伺いたい。

答 上司の指示に対応できる状態を前提に、節度ある最小限の時間で認めている。

問 時間や回数に制限は特になく、把握していないのか。

答 特に把握はしていないが節度ある最少の時間と周知している。

問 節度ある最少の時間に決まりはあるか。

答 特に決めていないことはない。

問 窓口担当職員が喫煙により不在であること自体が業務に差し障る。市民、関係者を待たせることに問題はないのか。

答 来客者に対応することが大前提で、すぐ職務に服せる状況を作っていくことが大事で、これからも業務管理、禁煙対策に取り組むたい。

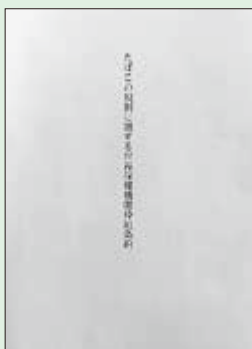
問 市のウェブページにサードハンドスモークについて記載されている。市民や同僚職員への暴露を認識したうえで勤務中の喫煙を了

としているのか。

答 さらに労務管理を徹底するとともに、一番は全ての職員が禁煙することである。禁煙の取組も進めたい。

問 条約は消費減少を目的にしており、喫煙環境の整備を求めている。今後喫煙促進となる行動は行わないという認識で良いか。

答 趣旨は使用および煙にさらされることの広がり減少、現在および将来の世代の保護が目的。趣旨に沿い、禁煙、正しい知識の啓発を進めていく。



※サードハンドスモーク…たばこの煙に含まれる物質が喫煙者の髪の毛、衣類、部屋の家具等に付着し、揮発したものが汚染源となり、第三者に与える健康被害のこと。

一般質問

自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について



宮崎

誠 議員  
(新政いせ)



答 市民サービスの向上、組織運営の効率化、地域課題の解決を図りたい

問 本市の自治体DX推進計画についての考えは。

答 情報システムの標準化、共通化および行政手続のオンライン化など、本市の推進計画を定めていく。

問 PCやスマホを活用した電子申請などオンライン化への考えは。

答 手続の拡大を検討するとともに、新たに電子申請システムを導入し、順次オンライン化を推進していく。

問 デジタル人材の確保について現在の考えは。

答 業務委託によるデジタル化支援、外部人材活用の課題を整理し、国・県の支援を活用・検討したい。

子育て支援について

問 親子3人乗り自転車購入補助事業は県内初の取組み。補助対象に電動アシスト付自転車も含まれるか。

答 電動アシスト付自転車も補助対象と考えている。

問 今回の補助事業において、こども用ヘルメットを自転車本体と同時購入することを検討しているのか。

答 現時点では、自転車本体と幼児用座席の購入費のみを補助対象としている。

問 将来的に親子3人乗り自転車の循環型活用(貸出し)も必要ではないか。

答 全国の先進自治体の状況を確認し、よりよきものを検討したい。

その他の質問事項  
● シティプロモーションの推進について



伊勢市議会のホームページで、会議を収録した動画を配信しています。

「伊勢市」のホームページを開き、「伊勢市議会」→「伊勢市議会動画配信」より視聴してください。

議案質疑・一般質問等の二次元コードの掲載について

議案質疑・一般質問ページにおいて、各議員のYouTubeを利用した録画放送へリンクする二次元コードを掲載しています。各議員の顔写真の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。

※二次元コードを読み取るためのアプリが必要です。  
インストールされていない方は、インストール後にご利用ください。



伊勢市議会ホームページの二次元コード

視聴方法

アプリを起動してスマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取ってください。

画面上にURL(アルファベットの文字列)が表示されますので、

クリックし、YouTube(外部サイト)を選択してください。

※機種やアプリによって操作方法は異なります。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。



※DX(デジタルトランスフォーメーション) …進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。

## 新型コロナウイルス感染症対策にかかる要望について

伊勢市議会では、いせ市議会だより9月1日号および市議会ホームページを通じて「新型コロナウイルス感染症に関する伊勢市議会アンケート調査」を実施しました。市民からの要望や意見等を取りまとめ、1月15日に市に対し、次の7点に関する対策を要望しました。

1. 新型コロナウイルス感染症に関する施策、3密対策等指針および感染が疑われる場合の相談窓口等について、今後も継続して市民や市内事業者への啓発・周知を徹底するとともに、特に高齢者や情報弱者に配慮したものとすること。
2. 新型コロナウイルス感染症に関する補助や給付等の事務手続について、煩雑で分かりにくいとの指摘があることから、今後の申請に際しては提出資料の簡素化等を図り、より丁寧な対応に努めること。
3. 新型コロナウイルス感染症による影響で収入が減少しているにもかかわらず、既存の施策では対象とならない生活困窮世帯や市内事業者等の状況把握に努め、新たな施策を検討すること。
4. 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることから、他市町の取り組みや事例等を参考に、市民の声（水道基本料金や給食費の無償化、保育料の減額、県外に住む大学生への支援等）を反映した施策を検討すること。
5. PCR検査については、市民からかかりつけ医等でいつでも受診できるよう多数の要望が寄せられていることから、必要な医療体制が構築されるよう対策を講じるとともに、国等に対し必要な要望等を行うこと。
6. 市民から発熱時の問合せ等に際し、保健所の対応の改善を求める意見が多数寄せられていることから、市民の不安を解消できるよう対策を講じるとともに、国等に対し必要な要望等を行うこと。
7. 市内医療機関や高齢者・障がい者等の介護福祉関連施設において通常の面会ができない場合に、タブレット端末等を利用したオンラインによる面会等が実施できるよう、必要な支援策を検討すること。



### 議員研修会を実施しました

コロナ禍や災害時における対応、またペーパーレス化等、議会活動のさらなる活性化を進めるために伊勢市議会ではタブレット端末を導入しました。

タブレット端末を議員一人一台と議会事務局に導入することで、オンライン会議の実施等、議会活動の活性化のほか、各種データやスケジュールの共有により、円滑な議会運営を行うことができます。



1月28日および29日の2日間、株式会社アイ・シー・エス、山本真光氏を講師に招き、タブレット端末の使用方法や情報セキュリティ等について説明を受けました。研修の内容を参考に今後の議会活動にタブレット端末を積極的に活用していきます。



### 大湊小学校と神社小学校が閉校しました

長い歴史と伝統を積み重ねてきた大湊小学校と神社小学校は、学校統合により、令和3年3月31日をもって、その校史を閉じることになりました。3月20日には大湊小学校、3月21日には神社小学校で閉校式が行われました。4月1日には統合校であるみなと小学校が大湊町に開校しました。



大湊小学校閉校式



神社小学校閉校式

### 各種ご案内

#### 議 会 放 映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。

#### 3月定例会会議録

3月定例会の詳細は、「3月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ6月下旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。

また、会議の様様を収めたDVDの貸し出しも行ってありますので、ご希望の方は議会事務局（TEL 2115630）までご連絡ください。

6月定例会は、**6月21日～7月7日**の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

# 表紙の題字は

宮山小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は、大西花佳さんの「いせ」を採用しました。



## 伊勢の好きなところ

伊勢市で私が一番好きな名物と場所は伊勢うどんと内宮です。内宮は自然の香りがして落ち着くので好きです。

宮山小学校 6年（現在厚生中学校 1年） おおにし はな 大西 花佳

いせ市議会だよりの表紙の題字は、伊勢市内の小学生から募集したものを学校ごとに掲載しています。

次号は、浜郷小学校の皆さんの作品の中から採用する予定です。



## 表紙写真を募集しています

年4回（5月・9月・12月・2月）、市内の全世帯に届けられる

「いせ市議会だより」の表紙を

あなたの写真で飾ってみませんか。

詳細については伊勢市議会ホームページをご覧ください。



## 伊勢市駅前再開発ビルへの 保健福祉拠点施設 入居に向けた基本協定締結を断念

伊勢市駅前の12階建て再開発ビルの5階から7階の3フロアに市の保健福祉拠点施設が入居するための補正予算が令和2年12月定例会に計上され、賛成多数で可決されました。

その後、伊勢市と施行者の間で基本協定の締結に向けた協議が行われてきましたが、双方の考え方に隔りがあり、合意に至っていないことが2月15日の全員協議会で市長から報告されました。その際、議員からは駅前再開発と保健福祉拠点施設の整備は別の施策であり、一度白紙に戻して改めて検討すべきである、市長の考えに賛同し、市民の財産を守るために英断を期待する等の意見がありました。これらの意見を踏まえ、2月22日の全員協議会では、最終的に市長から、施行者側の要求は違法性が生じる内容等を含むため、基本協

定の締結・入居は断念せざるを得ないと判断したとの報告がありました。

なお、総合的な福祉の相談支援体制については、令和3年度から福祉生活相談センターの機能を市役所本庁内に設置し、少しでも断らない相談支援の充実を図るようしっかりと取り組んでいくことが報告されました。

全員協議会の様子は伊勢市議会動画配信をご覧ください。



2月15日  
全員協議会  
配信動画



2月22日  
全員協議会  
配信動画



### 編集

議会のあり方調査特別委員会  
広報検討分科会

会長 吉井 詩子

副会長 久保 真

委員 宮崎 誠

北村 勝

鈴木 豊司

岡田 善行

品川 幸久

小山 敏

### 問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）

〒516-8601

伊勢市岩渕1丁目7番29号

TEL ②1-5630

FAX ②1-5631

Eメールアドレス

gikai@city.ise.mie.jp